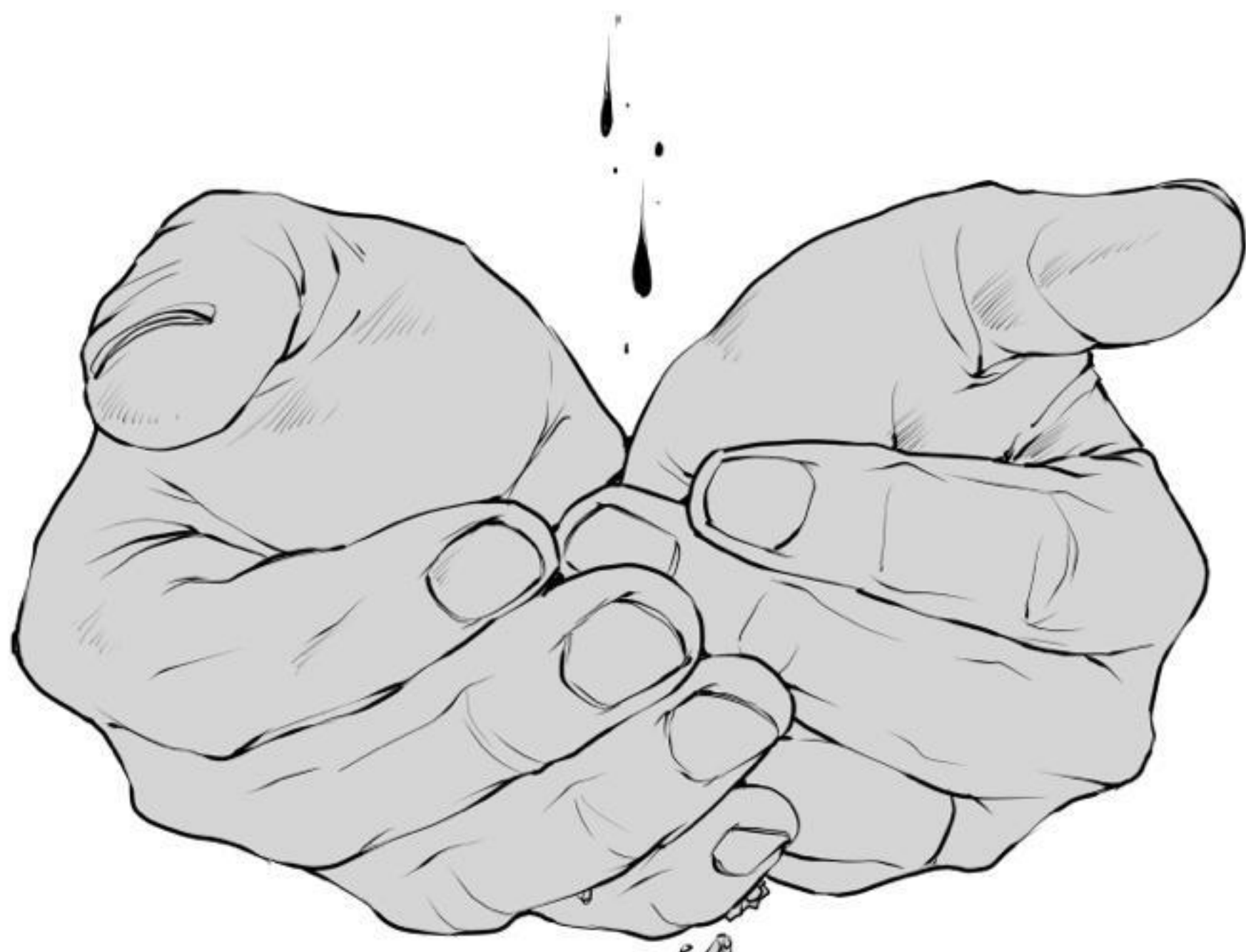




# ガラクタと伴星

debris and companion stars





# がれきと伴星

debris and companion stars.



渋谷事変を経て  
こわれた東京を彷徨う  
悠仁と脹相が  
ぽつり、ぽつりと  
少しだけ語る 3編

ひとのかたちをした：5P  
ユニットバス・デイ・ドリーム：18P  
150光年の矮星：41P

影のように寄り添って  
傍にたたずむ



得体の知れないそれは





ひとのかたちをした



悠仁



何？  
爺ちゃん

まだ起きとるのか  
早く寝ろ

まだ9時前  
なんだけど…

何観てるんだ？

あゝこれ？

恐怖の記録FILE

何かね  
ユーマの特集？

1mくらいで  
赤い大きな目を  
持っていて

ヤギとか家畜の血  
吸って殺すんだって

怖え〜

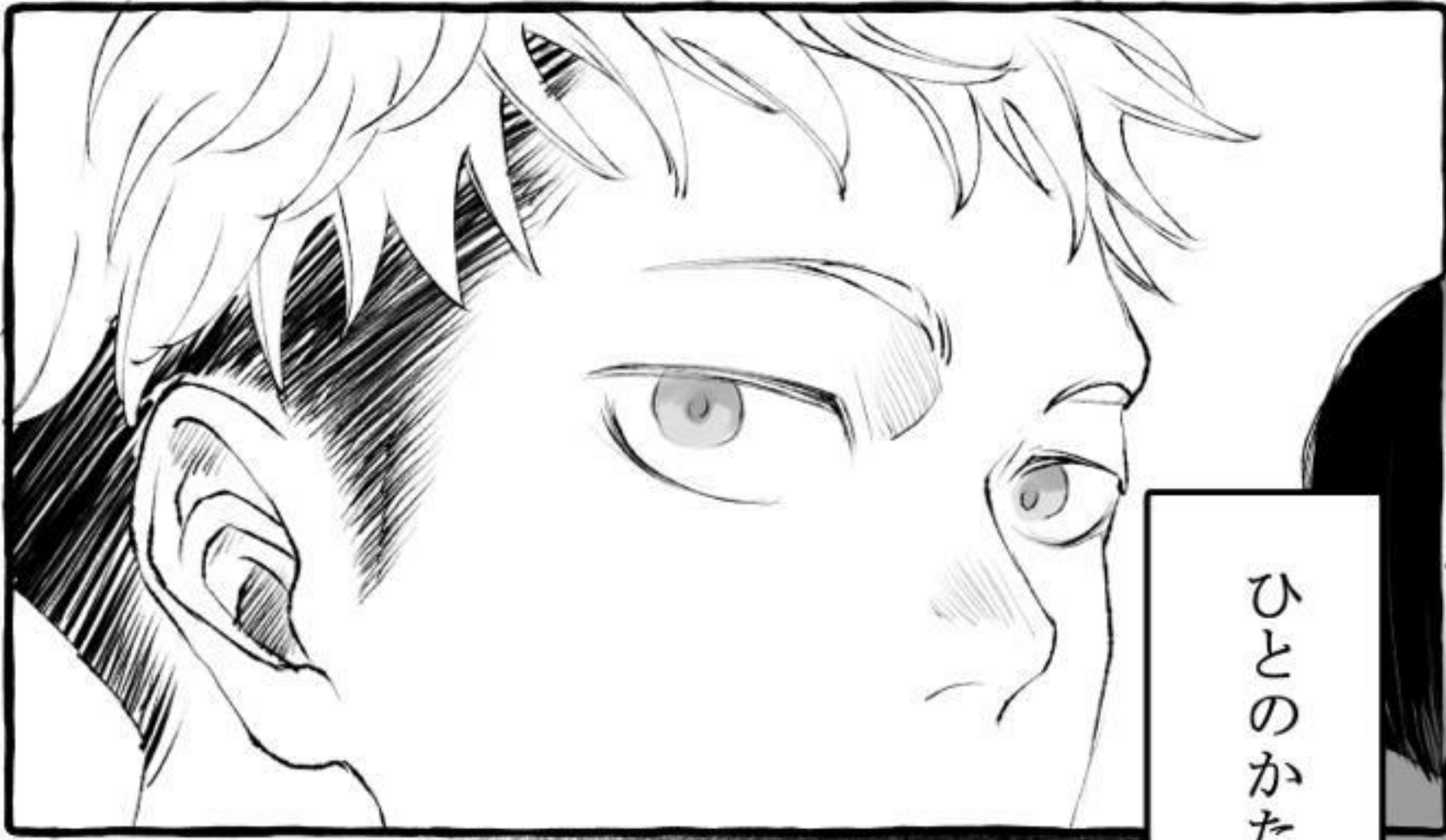
南米各地で謎の吸血鬼?!  
人里に忍び寄る「UMA」





本当に怖いのは

.....



ひとのかたちをしてるんだ



.....  
仁

悠仁





悠仁？

…大丈夫か？




あ…うん

ごめん  
なんでもない

ポーっとしてた

…そうか





受肉した特級呪物、だっけ

正直、コイツの主張は  
理解できないし

人のカタチをして  
意思疎通ができるってだけで

得体が知れない

なにより…

俺は仇だろ

オマエが言う  
弟ってだけで、何で

ダメだ

ダメだよ

不可抗力で  
片づけていいのか？

せめてオマエだけでも  
ちゃんと答めてくれよ

いい訳ない

じゃないと俺は  
少し赦された気になっちまって

罰してくれよ

それじゃ俺が

俺こそが





人のカタチをした  
まぼろし





別に

ケガとかねえよ

悠仁、オマエは  
吐き出すことさえも  
罪だと捉えている傾向がある

正直、俺は  
人間の機微に聴くないし

何の解決にも  
ならないかもしれない

それでも

痛いってことを  
聞くことだけはできる

そっか、俺は

……  
なんか

すっげえ……

バラバラに崩れそうな自分を  
罪悪感で縁取ろうとしてたのか

痛  
っ  
て  
え  
わ



おわり





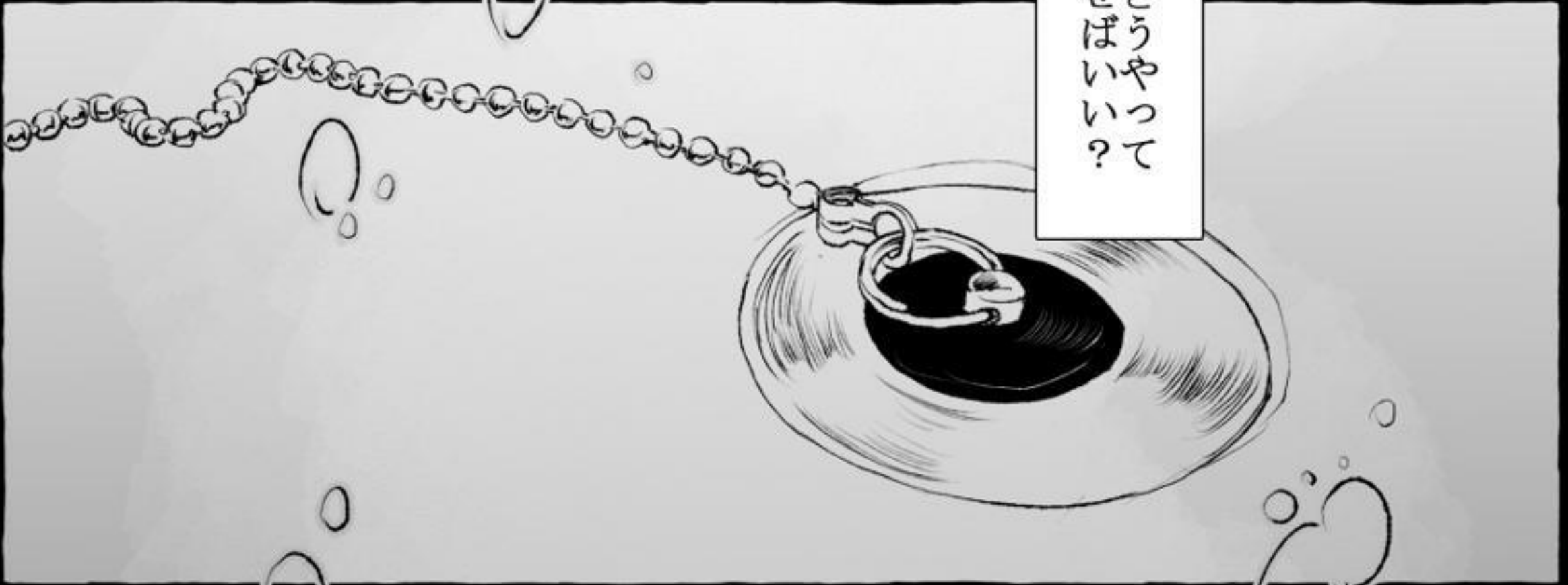


わからない

わからない



手はどうやって  
動かせばいい？



息はどうしたらできる？



2=つバ"ス・テ"イ・ド"II-α



……風呂？

防災備蓄倉庫

カセットコンロで  
お湯沸かして浴槽にためる

そ

雨で濡れたっしょ

俺なら大丈夫だ

術式で  
どうにでもなる

：いや、  
呪力は温存してくれ

それに……





これ運んで  
準備手伝って

先に水ためて  
熱湯入れる

ナントカ中毒に  
ならないように  
廊下で温めよ

ああ

……



——一息つきたい

……  
わかった



ちよつとの間  
ここに避難してたんだ……

……  
無事逃げられたかな



……なあ表情

オマエ風呂って  
入ったことあんの？

そっか

いや



少なくて  
ごめんなさい

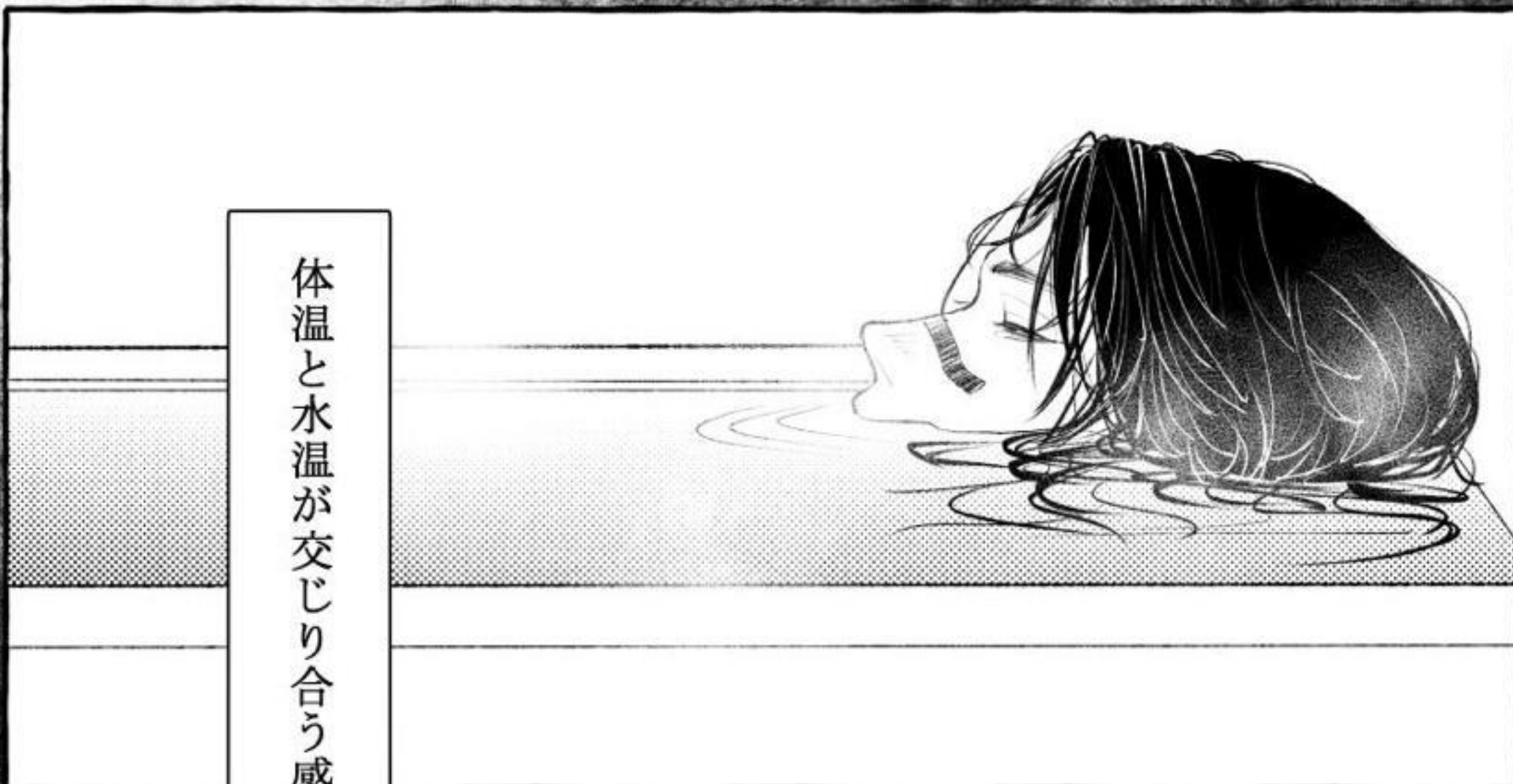
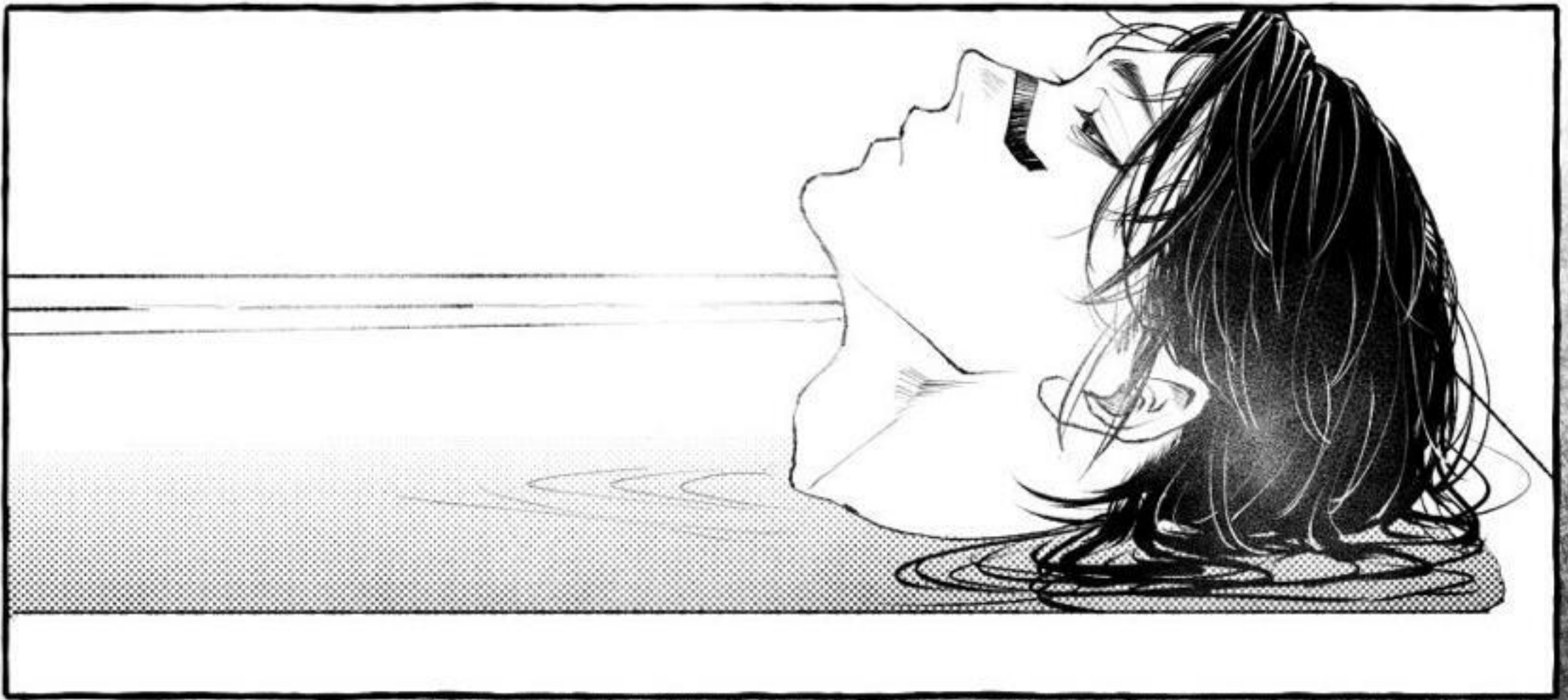
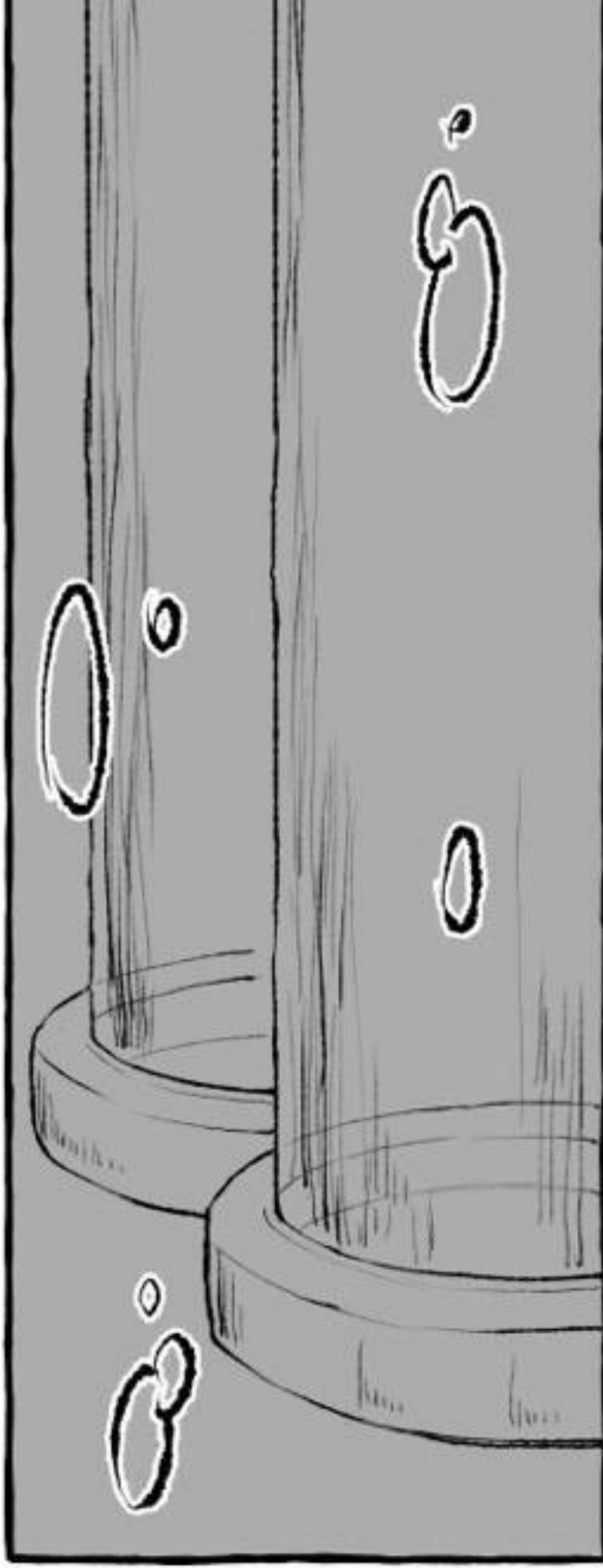





あつたかいよ

じゃあ  
入ってみなよ





体温と水温が交じり合う感覚




内側に響く鼓動

包まれる浮遊感

どんどんどん



ほんの少し過ぎた母の胎内も



こんな感じだろうか





あれ？

.....

どうやって  
手を動かしていた…？

苦しい

どうしたら  
息ができる？

俺が体を得たのは  
夢だったのか？

このまま死ぬのか

それでも

弟達に  
会えるのなら——







ああ、そうか

■、  
ごめんなさ

何で

死にたくない

痛い

苦しい

■と仲直り  
すればよかった

いたい

いやだ

死にたくない

■の映画  
見ておきたかった

痛い

■  
食べておなまよかった

痛い

どうして

苦しい

イタイ

■ちやくちや  
■はな会義があるのに

何故?

苦しい  
■に会いたい

俺は  
何してるんだろう

肉体を得て弟達のためと  
呪霊側についたのに

大切なものを喪って  
一人生き残った挙句――



脹相！

✦



脹相!

大丈夫か?!

ゆ

...うじ

何で風呂で  
溺れてんだよ



だいじよぶ？

……すまない

ああ

なんか  
考え事してたん？

……悠仁

ん？



オマ……

それ、  
俺に聞く……？

……



俺は何故こうして  
生きていて

何故ここに  
いるんだろうな



あ……  
すまない  
悪かった

いや……  
別にいいけどさ





俺はさ

俺なりに  
役割を理解したんだ

誰にも  
許されないとしても

生きてやんなきゃ  
いけないことがある



理由とか意味とか  
あるとすれば

そのずっと後に  
ついてくる気がする



そうか：  
悠仁は強いな

強くなんかないよ、  
もっと強くなりたいよ



強くないからこそ

忘れないようにしてる



悠仁

俺は  
肉体を得たが

人間になりたい  
訳じゃない

血が通ってもなお

純然たる呪いが  
ここにある



でも

オマエの  
力になりたいし

オマエが  
守りたいものを

俺も守りたい



そのために  
理解しないと  
いけない気がする

どうして  
俺がいるのか

それに…

オマエが言う役割が  
俺にもあると

信じたいのかもしれない



じゃあ

生きなみや、  
だな

.....



...ああ

ん？

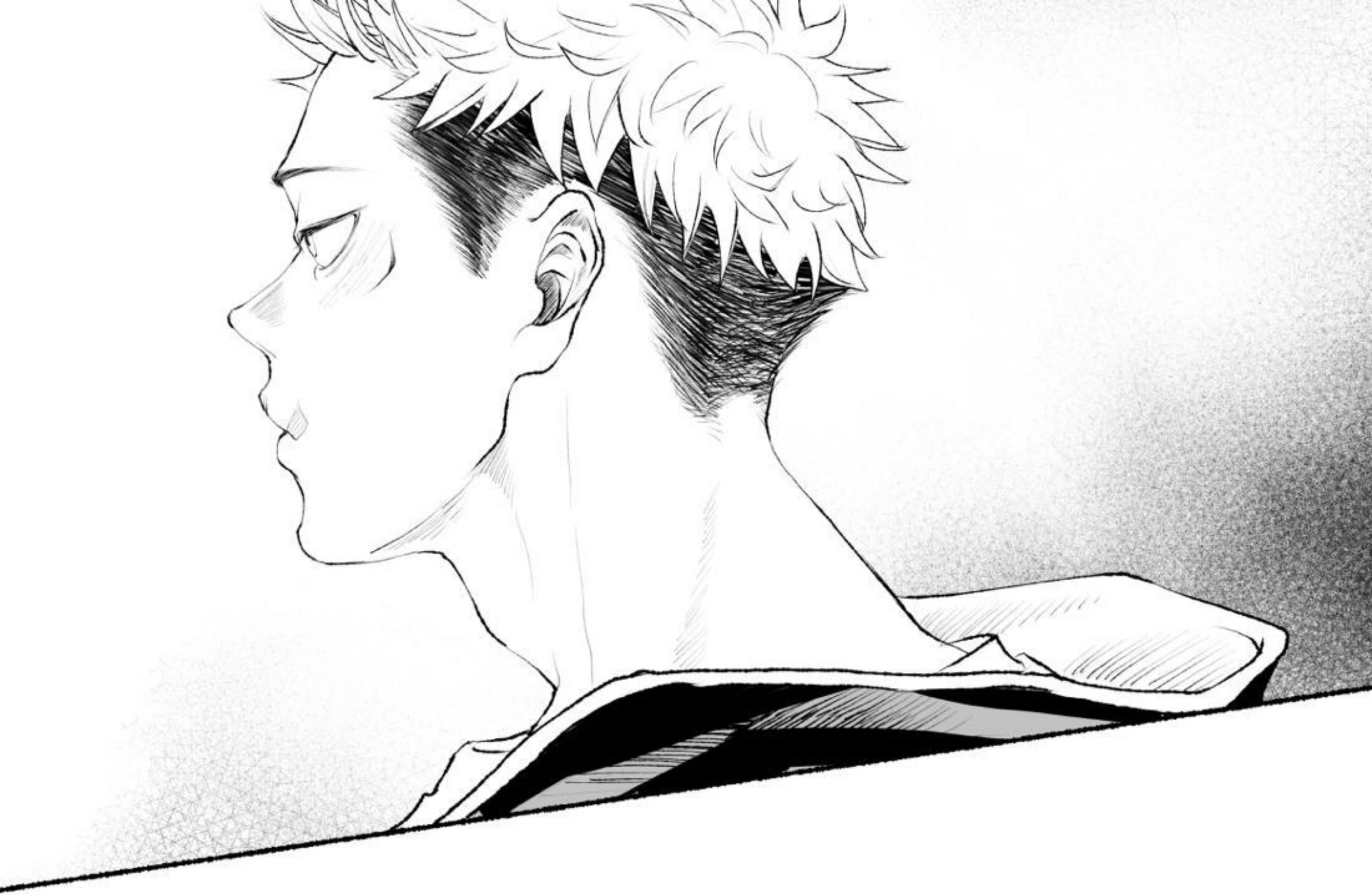
悠仁

上手く言えないが

生きるって、

苦しいな





そだね

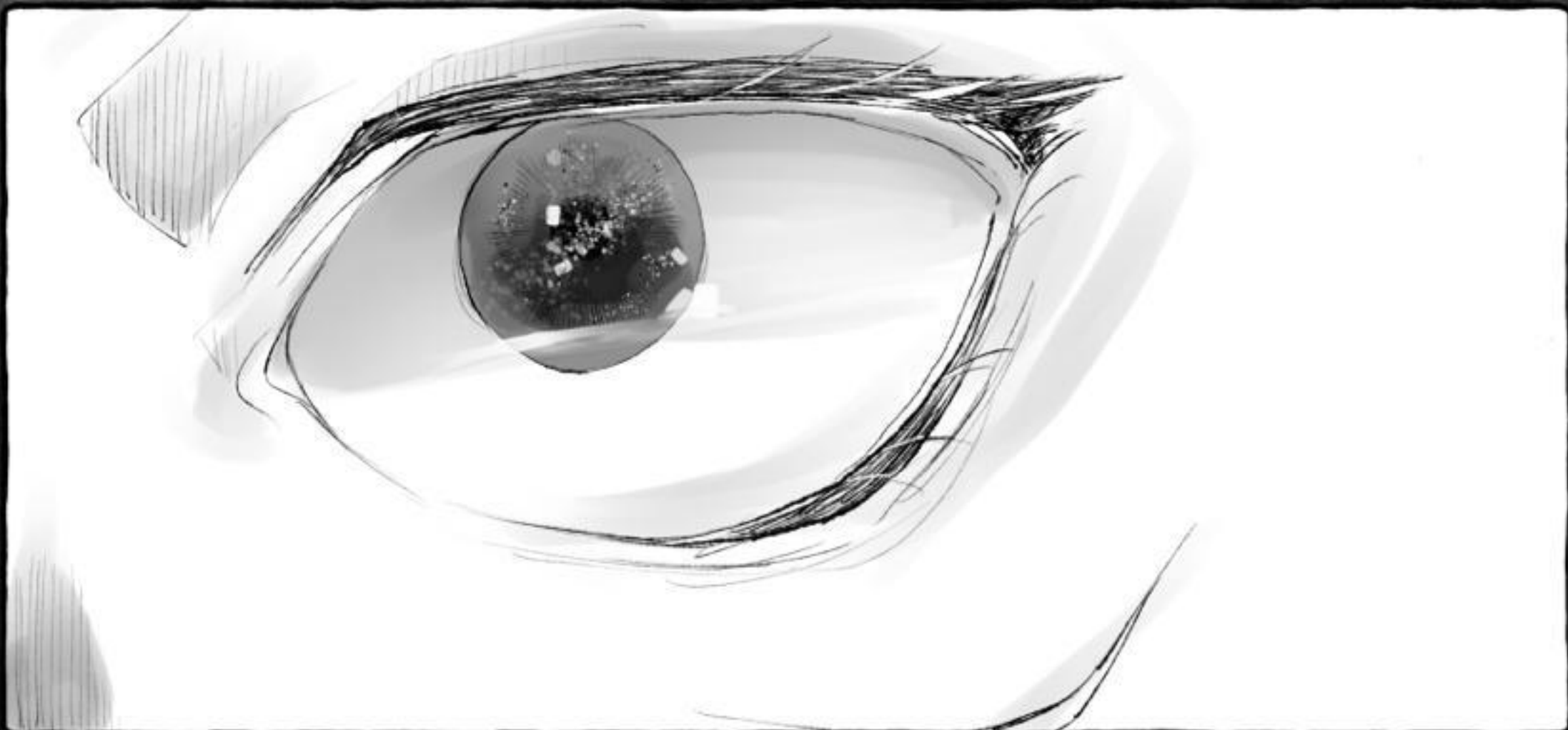
おわり



皮肉だなんて思った



壊れた東京の



満天の



150  
光年の  
矮星





…星だよ

高専のある郊外なら  
珍しくないけどさ

明るいはずの都心で  
こんな満天の星を  
見られるなんて

俺が  
もっと強ければ

…俺が  
いなければ

俺が生まれて  
こなければ

都心は  
明るいまま  
だったのかなとか

俺がどうこうできる  
レベルの話じゃ  
なかったかもだけど

こうやって  
星空見てっと

そんな事ばっか頭に  
浮かんでくるんだわ

……  
悠仁

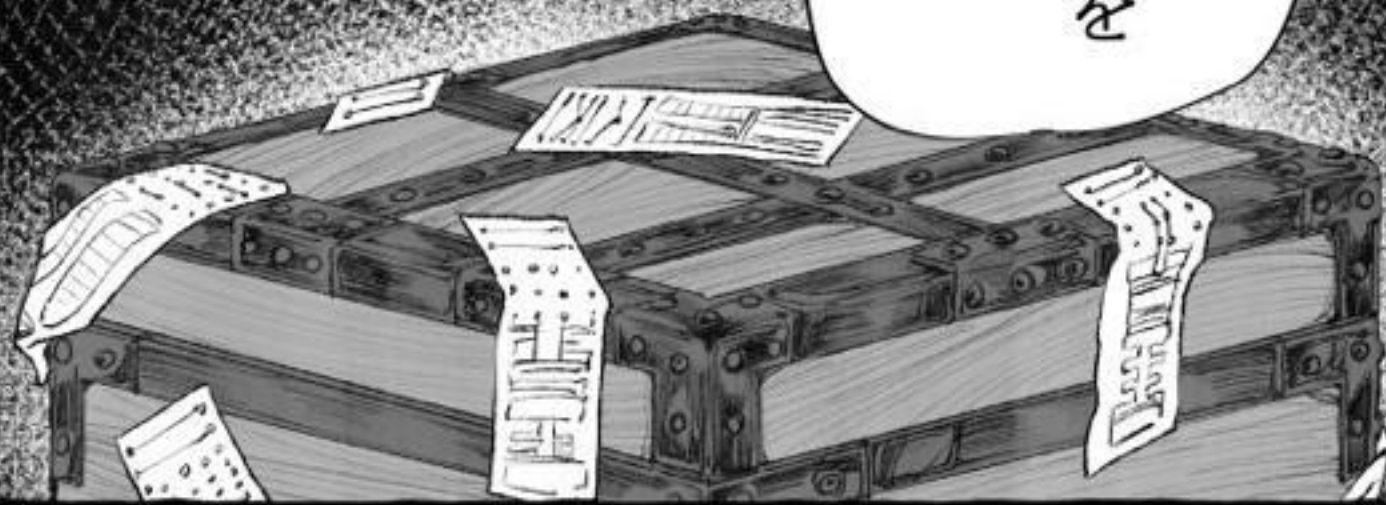
俺は…

俺たちは

受肉前に空や  
星というものを  
見たことが  
無かったんだ

生まれることも  
死ぬことも叶わずに  
厳重に封印されて

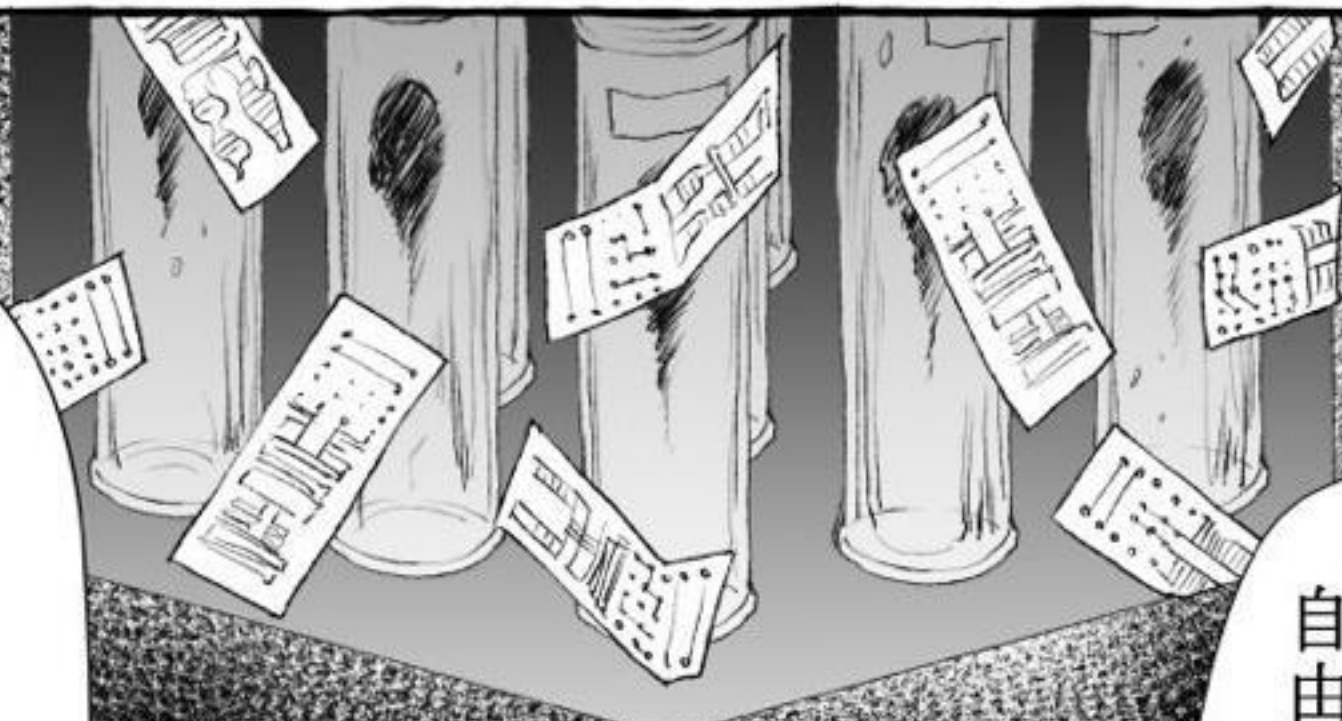
ずっとずっと  
光が射さない  
暗闇の中だった



わずかな知識を  
兄弟で分かち  
合いながら

ささいな  
自由を夢見て

忌庫の外を想像しては  
どこまでも広がる空に  
思いをはせたんだ



出来れば  
弟全員に外の世界を  
見せてやりたかったし

悠仁にとっては  
辛いだけの  
空なのかもしれん

それでも俺は

オマエとこうやって  
星空を見て嬉しい



ハフッ

ハフッ





めちやくちや  
星が遠いから  
それだけ時間が  
掛かるってコト



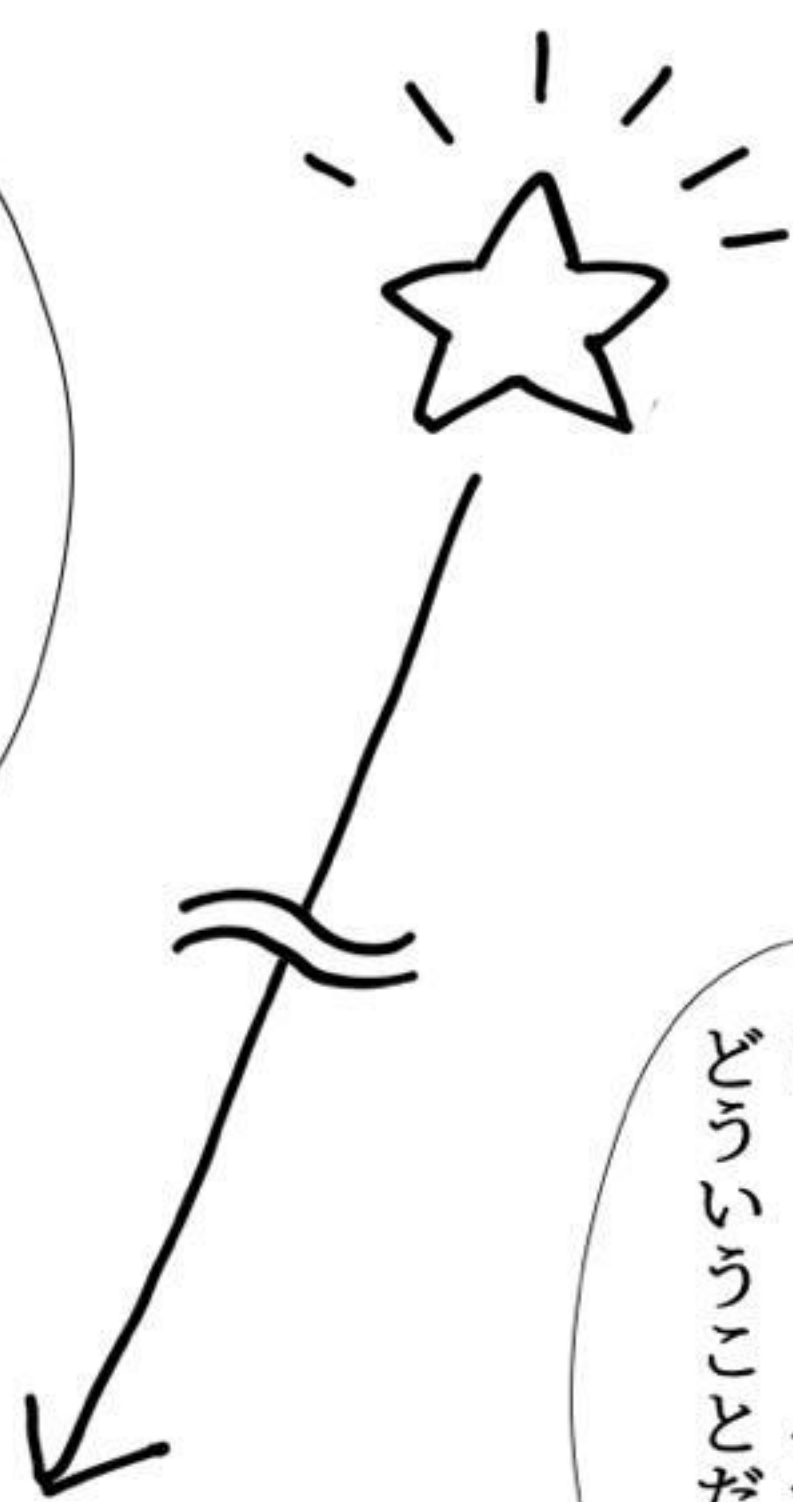
星の光ってさ  
何百年も  
何万年も前の  
光なんだってさ



ど、  
どうらうことだ...?



そ、そうか...  
悠仁は  
物知りだな...!





長い長い  
時間を超えて

真っ直ぐ  
ここに来たなんて



なんかさ



150年を  
超えてきた

オマエ  
みたいだなんて



……うわ、  
何言ってるんだ俺



って……ええ?!

はあ?

何で  
泣くん?



ちよ……何

オマエの情緒  
わかんねー!!

生理現象だ  
気にするな

かほ!!

お兄ちゃんと呼べば  
すぐ落ち着く

まだ  
言うのそれ!



ふふっ

まだ  
モッ

—悠仁

ん？

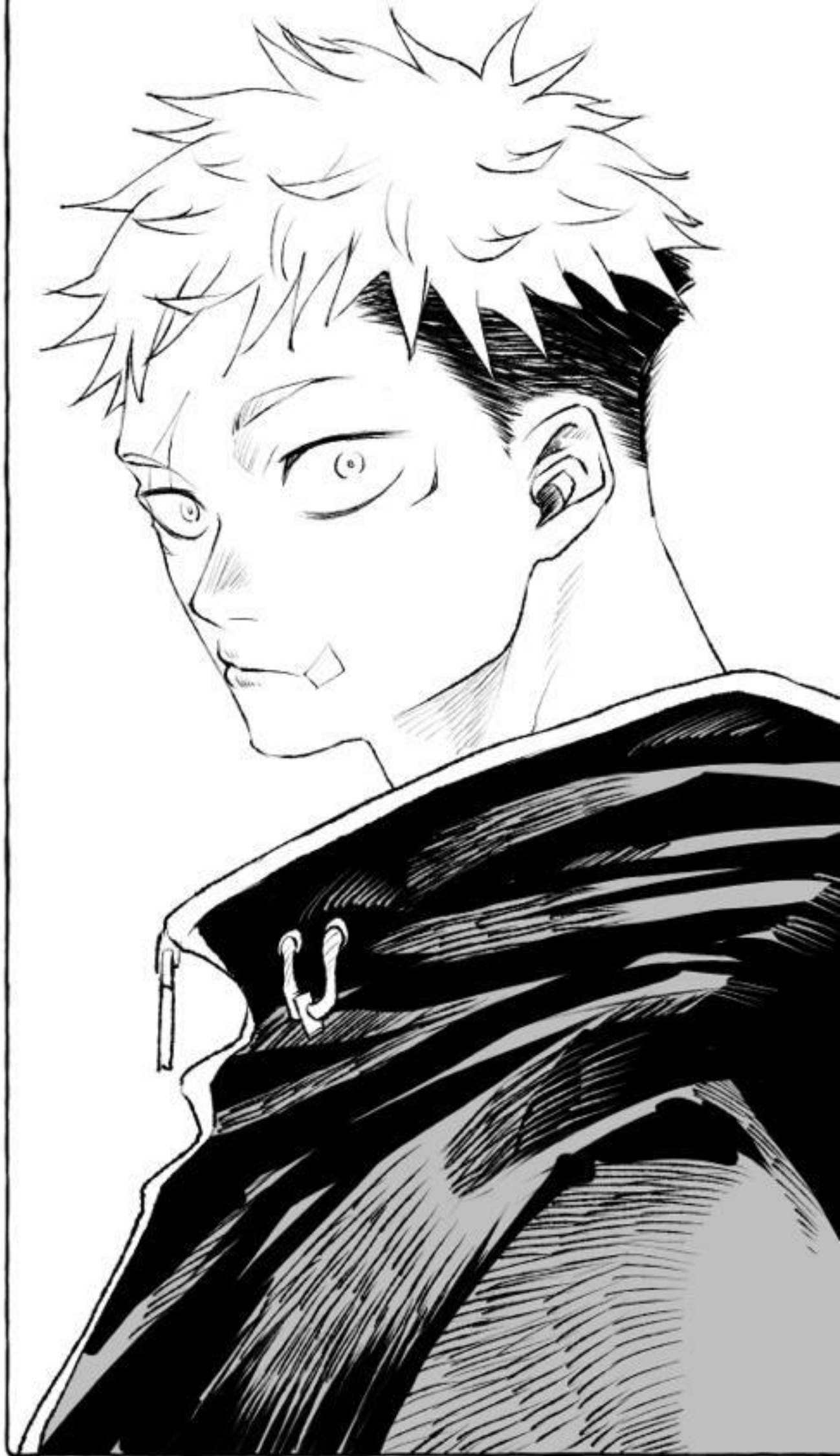
昔、星の光は  
旅人を導く  
標だったと聞く

太陽のように  
明るく照らしてやることは

出来ないが

オマエが前に進むための  
小さな光にならせてくれないか





頼むわ





今回は手に取っていただき有難うございました！  
ン十年ぶりの個人誌づくりに四苦八苦しましたが  
まわりの方々に知恵をいただき無事発行することができました。

自責しこわれた東京に留まった悠仁と  
数刻前まで仇だった少年の傍で兄を全うしようとするお兄ちゃん。  
2人はそれぞれどんな事を考えながら狩人期を過ごしたのかな、  
どんな言葉を交わしたんだろう、  
きっとその数は多くはないんだろうけど  
背負いすぎた15歳にとって支えになったのは間違いないんだろうな  
…とか、その辺の自分なりのふわっとした解釈を  
ふわっとアウトプットしたのが今回の3編でした。

ここまで読んでいただき有難うございました！  
ひとことでも感想貰えると嬉しいです！



マ  
シ  
ユ  
マ  
ロ

## 「がれきと伴星」★☆☆

発行者：こそこそ/御内密 #1

Twitter：@jgg30ksks

pixiv：56995942

ksks30gnm@gmail.com

発行日：2022/6/11

印刷：プリントオンさま

表紙、ロゴデザイン：S\_D/すいさま(Twitter:@s\_design33)

この本は個人的に作られた非公式ファンブックです。

原作者様・出版社様とは一切関係ありません。

無断転載・複製・複写・Web上への掲載

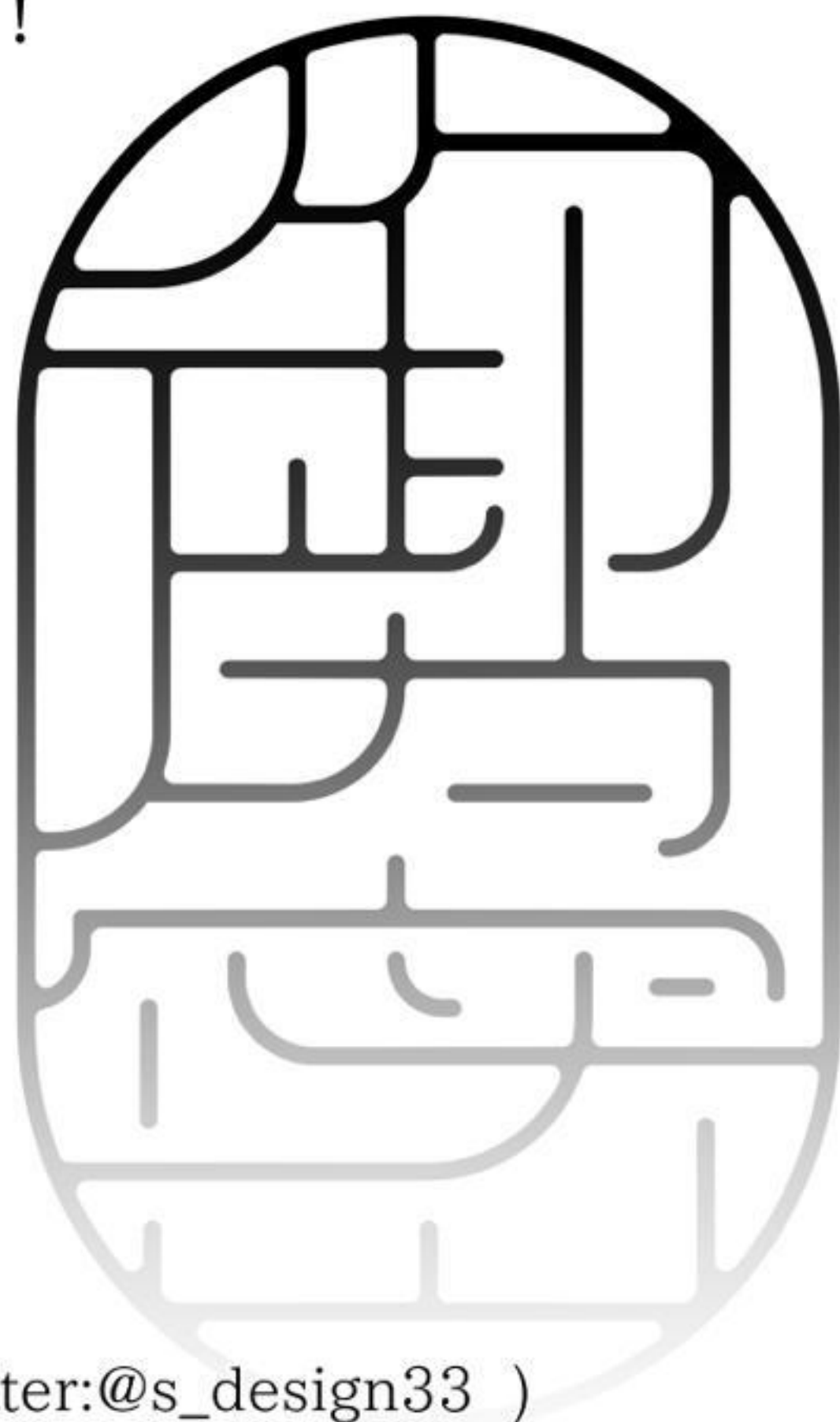
(SNS・ネットオークション・フリマアプリ含む)は禁止です。

ネットオークション、フリマアプリでの転売はご遠慮ください。

処分する際は同人誌専門の中古書店に売却していただくか、

中身が分からない状態にしていただいた上で

可燃ゴミとして廃棄してください。



が  
れ  
き  
と  
伴  
星

debris and companion stars

debris and companion stars



JUJUTSUKAISEN UNOFFICIAL FANBOOK  
GONAIMITSU KOSOKOSO